

女性に対する暴力 STOP 概

パートナーとのいい関係を築くために

問い合わせ 女性センター ☎38-2023

あなたは、デートDVについて知っていますか？

女性に対する暴力のひとつにDV(ドメスティック・バイオレンス)があります。中でも最近深刻化しているのが、デートDVです。既婚、未婚に限らずパートナーとのいい関係を築くためにもちょっと考えてみませんか。



女性に対する暴力根絶シンボルマーク

デートDVって？

未婚のカップルの間に起こるDVで、具体的には次のようなものがあります。

*身体的暴力・殴る、ける / 精神的暴力・暴言や脅迫 / 社会的暴力・友人関係を制限したり携帯電話を無断でチェックする / 性的暴力・一方が望まない性的行為の強要等。

暴力の形態は夫婦間のDVと変わりませんが、未婚の場合では携帯電話をめぐるトラブルが多いようです。勝手に相手の携帯電話の着信履歴やメールをチェックしたり、1日に数十回メールを送ってきて、相手から返信がないと、怒って暴力にエスカレートするようなケースです。茨木市で起こった女性連続監禁事件は、デートDVの典型ともいわれています。

世間の認識は・・・

問題なのは、配偶者間の暴力防止について規定した「DV防止法」では恋人関係は対象外のため、被害を受けても保護命令等の対象にはならないことです。また周囲からは「嫌なら別れたらよい」と安易に見られがちで、二次被害を受けてさらに傷ついたり、被害を訴えにくいという状況があります。別れようとして暴力がひどくなり「別れないほうがまし」と思われ、関係から逃れられないケースもあります。相手を自分の思い通りにするために「暴力で支配する=パワーでコントロールする」その構図は、夫婦間でも恋人間でも根は一緒で、暴力を受ける側は同じように悩み、追い詰められます。

その実態と背景は・・・

内閣府の調査(男女間における暴力に関する調査、平成17年実施)によると、10代から20代の時に交際相手から何らかの暴力の被害を受けたのは、20代女性で22.8%、30代女性で18.7%という結果がでています。

デートDVの背景として、「性の低年齢化により若い人にDVが広がってきた」状況や、小さい頃からメディアや世間から刷り込まれる「男の子はたくましく、女の子はやさしく」というようなジェンダー(社会的・文化的につくられた性)の意識も、大きく影響しているといわれます。「DVは個人の問題ではなく社会の問題」という認識や、「暴力を決して許さない」という周囲の目が必要です。

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」

《街頭啓発》 日時 11月22日(水)午後2時～ 場所 JR芦屋駅周辺



バイマヤンジン氏

日々の生活と人権を考える集い チベットからのメッセージ

～すべての人が幸せになるために～

日時 12月8日(金)午後1時30分～3時<午後1時に開場>
会場 ルナ・ホール 内容 「チベットからのメッセージ-すべての人が幸せになるために-」 講師 バイマヤンジン氏(チベット人声楽家) 定員 先着650人 手話通訳、要約筆記、託児 2歳以上・要予約あり 申し込み 当日会場へ

問い合わせ

ラポルテ市民サービスコーナー 緯31-3130

ラポルテ市民サービスコーナー

窓口ご利用時間
平日(月～金曜日) 午前10時～午後7時
土・日・祝日 午前10時～午後5時
休業日 11月16日(木)・12月29日～1月3日
交付内容 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部・個人事項証明書、市民税県民税課税証明書、固定資産課税台帳記載事項証明書等【ご注意】土・日・祝日と、平日の午後5時15分以降は、戸籍・除籍・改製原戸籍謄抄本や税務証明等は申請受付のみで、証明書発行は翌開庁日となります。各種届出・登録の手続きは、市役所市民課へ

「下水」の水質検査結果 下水処理場 緯32-1291

試験項目	試験日	平成18年9月20日	平成18年10月12日	活性汚泥法処理による基準
天候	晴	晴れ	晴れ/雨	
気温	24.4	22.1		
検査水名	流入水	処理水	流入水 処理水	
水温(℃)	26.4	26.5	24.8	25.1
P	H	7.5	7.7	6.9
S	S(糞/濁)	8.6	7.0	8.8
B	O D(糞/濁)	120	4.4	121
		0	70,000	0
備考	前日 晴れ	前日 雨/曇り	前日 晴れ	

用語の説明 【PH】水素イオン濃度。酸性度を示し7が中性。7より大きいほどアルカリ性が、小さいほど酸性が強い。【SS】不溶性の固形物。水質汚染の原因になる。【BOD】生物化学的酸素要求量。数値が高いほど有機物が多い。

問い合わせ

ラポルテ市民サービスコーナー 緯31-3130



宮井 壽美子氏



渡邊 洋子氏

人権擁護委員に渡邊洋子氏、宮井壽美子氏が法務大臣から再任されました。人権擁護委員は人権に関する相談に乗り、その解決のためのアドバイスなどをします。

人権擁護委員に渡邊洋子氏・宮井壽美子氏が再任されました

問い合わせ 生活環境部人権推進担当 ☎38-2055

【特設人権相談所】

人権週間中に人権擁護委員による人権相談所を開設します。夫婦や親子間での問題、近隣問題、差別問題など人権に関するご困りのかたは、お気軽にお申し込みください。秘密は厳守します。(要予約)
日時 十二月五日(火)午後一時～四時
会場 市役所北館二階会議室
申し込み 人権推進担当へ
毎月第二、四火曜日の午後、人権相談所を開設しています。要予約。ただし、十二月十二日(火)はお休みです。ご了承ください。

12月4日～10日は「人権週間」です ～12月10日(日)・人権デー～

平成18年度人権週間記念講演会

「日々の生活と人権を考える集い」

問い合わせ 生活環境部人権推進担当 ☎38-2055



芦屋市・人権シンボルマーク

「人権週間」は、昭和二十三年十二月十日の国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、法務省および全国人権擁護委員連合会が毎年、世界人権宣言採択日を最終日とする一週間を「人権週間」と定めたものです。

実施されます。本市では、毎年、人権週間記念講演会として、「日々の生活と人権を考える集い」を開催しており、本年も次のとおり実施します。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

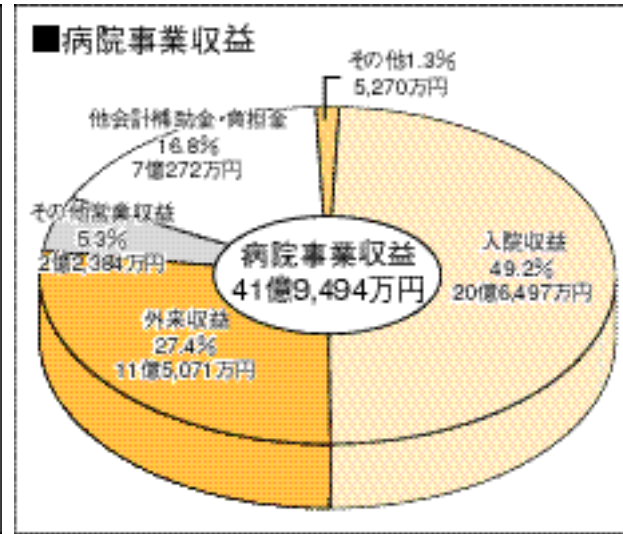
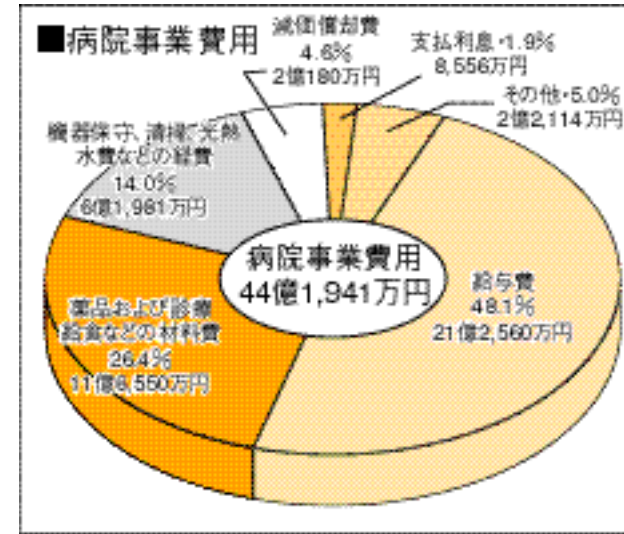


講演会の様子

ご存じですか？ 検察審査会

交通事故や詐欺など犯罪の被害にあったが、検察官がその事件を起訴しないのは納得できない。このような不満をお持ちのかたは検察審査会にご相談ください。秘密は固く守られます。検察審査員の選任方法は、市町村の選挙管理委員会が、選挙人名簿からくじで検察審査員の「予定者」を選び、その後数回のくじにより最終的に検察審査会事務局が、「検察審査員」を選びます。あなたも「検察審査員」を選ぶ段階の「予定者」や「候補者」に、くじで選ばれるかもしれません。そのときは調査票の提出等にご協力いただきますようお願いいたします。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100



平成17年度 工事および医療機器取得に関する事項
建設改良工事 医療機器等購入 厨房空調設備改修工事 ほか1件
高周波熱凝固装置 / 双方向無線式血圧モニターリングシステム / 上部消化管汎用ビデオスコープ / 超音波診断装置 / 自動視野計 ほか40件



新しいMRI 稼働開始

工事中、市民の皆さんはたいへんご迷惑をおかけしました。十月三十日から、フィリップス社製のIntera Achieva 1.5Tが稼働開始しました。これまでの機種ではできなかった、早期脳梗塞の検出や悪性腫瘍の鑑別にも有効な画像が撮影可能となり、今後の患者さんの診断・治療に大きく貢献できます。

また、これまでに比べ、検査時間も短時間でより詳しく検査ができますので、小さな脳梗塞や前立腺癌など、気になっていたり、かたは気軽に受診してください。検査をご希望のかたは、当病院またはかかりつけの主治医にご相談ください。検査の内容は放射線科、予約・手続に関しては地域連携室へ。

【市民公開講座の日時・内容等】
11月18日(土)「いろいろな痛みの治療 ベイクリック」柴田政彦麻酔科部長 / 平成19年1月27日(土)「小児の熱性けいれん」田平公子小児科部長 / 2月24日(土)「がんの免疫療法について」古林孝保腫瘍内科部長 / 3月24日(土)「産婦人科における漢方治療」多田博文産婦人科部長 / 4月28日(土)「最近の糖尿病治療」金山良男副病院長 / 5月26日(土)「乳がん健診とマンモグラフィ」小川法次診療局長 / 6月23日(土)「ピロリ菌感染症の話題」田中道弘消化器内科部長

公民館音楽会 クリスマス・コンサート

日時 12月9日(土)午後1時30分～3時
会場 市民センター音楽室 出演 木村みお(バイオリン)、北川靖明(クラリネット)、四本美紀子(ピアノ) 曲目 バイオリン・コンチェルト / チャールダシュ / クリスマス曲 / 日本のうた ほか 参加費 500円
申し込み 往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加人数を記入し、11月25日(土)までに下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700 (〒659-0068 業平町8-24)

西村由紀江ピアノコンサート

テレビ番組やCMへの出演、エッセイの執筆、映画音楽等のプロデュースとさまざまな分野で活躍中の西村由紀江さんのピアノコンサートです。
日時 1月20日(土)午後5時開演
会場 ルナ・ホール
料金 前売3,000円(当日3,500円) * 前売開始は11月22日(水)チケット発売所
市民センター事務所・グリル業平、市役所売店、モンテメール大蔵、ローソンチケット(レコード58027)

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

芦屋病院事業会計決算報告

問い合わせ 芦屋病院総務課 ☎2156

平成十七年度は、入院患者数六万二千九百六十八人と前年度より一万八千二百三十二人減少し、外来患者数は一万三千五百六十三人と前年度より一万六千二百二人の減少となりました。経営状況については、病院事業収益四十一億九千四百九十四万円、病院事業費用は四十四億一千九百四十一万円を差し引き、二億二千四百四十七万円

	平成17年度	平成16年度	増 減
入院	延べ患者数 62,968人	81,200人	18,232人
	1日平均患者数 172.5人	222.5人	50.0人
	病床利用率 63.4%	81.8%	18.4%
外来	延べ患者数 103,563人	129,575人	26,012人
	1日平均患者数 424.4人	533.2人	108.8人
	診療日数 244日	243日	1日
病院事業収益	41億9,494万円	54億 248万円	12億 754万円
病院事業費用	44億1,941万円	52億7,408万円	8億5,467万円
純 損 益	2億2,447万円	1億2,840万円	3億5,287万円
累積欠損金	51億7,760万円	49億5,313万円	2億2,447万円



「開かれた病院」を目指して
芦屋病院では従来、病院内で健康教室、糖尿病教室、肝臓病教室を行ってこま。このたび、健康や疾病に関心のある市民の皆さんにも気軽に足を運んでお話しを聞いていただく取り組みを、九月から市民公開講座として始めています。できるだけ参加しやすい曜日や会場を設定しました。講演終了後質問や医療相談もお受けします。

芦屋病院ホームページ http://www.ashiya-hosp.com/